

Q-1 昨年の採用試験の受験者数や倍率を教えてください。

A-1 昨年9月に実施した採用試験の結果は下表のとおりです。

区分		採用 予定者数	受験 者数	一次試験 (筆記) 合格者数	一次試験 (筆記) 倍率	最終面接 受験者	最終面接 合格者	採用 者数	合格倍率
一般事務職	上級	10	20	15	1.2	8	4	4	4.0
	中級		3	3		3	2	1	
	初級		1	1		1	1	1	
一般技術職 (建築・土木)	上級	1	1	1	1.0	-	-	0	-
	中級		-	-		-	-	0	
	初級		1	1		1	1	0	
保育士	上級	1	2	2	1.0	2	2	2	1.3
	中級		2	2		2	1	1	
	初級		-	-		-	-	0	
保健師	上級	1	1	1	1.0	1	0	0	-
	中級		-	-		-	-	0	
	初級		-	-		-	-	0	
管理栄養士	上級	1	5	4	1.2	4	2	2	2.5
	中級		-	-		-	-	0	
	初級		-	-		-	-	0	
建築基準適合判定資格者		1	-	-	-	-	-	0	-
一級建築士			-	-	-	-	-	0	-
土木施工管理技士			1	1	1.0	1	1	1	1.0
一般技術職(民間企業等経験者)			-	-	-	-	-	0	-
第一種電気工事士		1	-	-	-	-	-	0	-
電気工事施工管理技士			1	1	1.0	1	0	0	-
電気主任技術者			2	2	1.0	2	2	2	1.0
計		16	40	34	1.1	26	16	14	2.8

Q-2 職員の男女別の人数はどうなっていますか。

A-2 令和6年7月1日現在の職員数は、704人です。このうち、女性職員は334人(47.4%)、男性職員は370人(52.6%)です。30歳未満の職員数は134人で、女性職員は72人(53.7%)、男性職員は62人(46.3%)です。

Q-3 新規採用職員の配属先は、どのように決まりますか。

A-3 一般事務職の新規採用職員は、採用試験申込書やエントリーシート、面接試験で聞き取った内容などを参考にしますが、市民の方と接する機会の多い窓口業務を行っている部署へ配属されることが多いです。専門職は、保有する資格等により関連する部署へ配属されます。

Q-4 採用後の配属部署の異動の周期や方法はどのように決まっていますか。

A-4 人事異動は、概ね4～5年を基本とし、性質の異なる部署を組織運営に支障のない範囲で配置替えをしながら人材育成を図るための「ジョブローテーション」を実施しています。なお、異動先等の希望を把握するため、毎年12月に自己申告書を提出してもらい、人事配置等の参考にしています。